

Kofax ReadSoft Online

請求書処理について、Gartnerは「2025年までに財務管理アプリケーションのあらゆる分野で」クラウドが主要な配備モデルになると予想しています。Kofax ReadSoft Online™は、クラウド市場をリードするキャプチャ、抽出、確認の為のソリューションを提供します。

このソリューションにより、企業は請求書をシームレスかつ手頃な価格で処理することができます。セットアップの時間、IT部門の関与、アップグレード費用、複雑でコストのかかる実装プロジェクトは必要ありません。設備投資や減価償却費がかからないため、ROIを即時に体现出来ます。

この拡張性の高いマルチテナント型クラウドソリューションは、直感的なユーザー体験を実現する最先端のHTML 5ユーザーインターフェイスを備えています。ReadSoft Onlineは1日24時間週7日間利用でき、継続的なモニタリングを通して顧客パフォーマンスを最適化します。

事業上の課題

- ◆ 非効率的でコストのかかる手作業は、ミスが発生しやすく、財務コンプライアンスの問題や監査につながる可能性があります。
- ◆ もっと価値の高い業務に配置換えできるはずの社員が、労働集約的な手作業で身動きが取れません。
- ◆ 支払い済み請求書と未払い請求書の状況確認がいずれも困難です。
- ◆ 統制が取れておらず、標準的な手順も整備されていないため、長々とした監査が必要になり、不正を見抜くことが困難です。
- ◆ オンプレミス型の導入には高額なコストがかかり、設備投資が必要となります。

メリット

- ◆ **データ精度の向上。**抽出率はクラス最高の95%です。(一般的には80%以上。)
- ◆ **生産性の向上。**手動での入力や検証が不要になり、処理コストを削減できます。
- ◆ **平均99.9%のアップタイムで1日24時間週7日間の稼働。**クラウドを利用したアクセスにより、インターネットに接続できればどこでも請求書の自動化が可能です。
- ◆ **IT要件の緩和。**ハードウェアまたはソフトウェアへの投資は必要なく、迅速に導入できます。時間のかかるメンテナンス、アップグレード、アップデートも不要です。
- ◆ **財務管理の改善。**正確な財務諸表をすぐに利用できます。管理が強化されることで、不正な請求書の支払いや二重払いも予防できます。すべての請求書をすぐに確認できます。
- ◆ **サプライヤーとの関係改善。**迅速な請求書処理により、延滞金の支払いが減り、早期支払い割引の適用が増えます。

技術仕様

最新のシステム要件は、<http://docs.readsoftonline.com/help/eng/production/index.htm> の資料でいつでもご確認いただけます。

対応ファイルフォーマット

JPEG、JPG、PDFバージョン1.3~1.7、PNG、TIFF、TIF。請求書の画像はすべて、解像度300 dpi、縦1,000ピクセル以上が必要です。

スキャンの要件および条件

- ◆ カラーモード: カラー、グレースケール、白黒画像に対応。
- ◆ スキャンモード: シンプレックスおよびデュプレックスに対応。空白ページは削除。スキャンアプリケーションでスキャンされた請求書は、ローカルドライブに保存され、ReadSoft Onlineに安全にアップロードされます。

請求書入力オプション

- ◆ Eメールに添付し、顧客ごとのアドレスに送信
- ◆ ReadSoft Online Connectを通じたアップロード
- ◆ ウェブユーザーインターフェイスを通じたアップロード

請求書は1通ずつ、または空白ページで区切ることによってバッチ単位で受領できます。1ページの請求書を異なるバッチで送付する場合、空白ページは必要ありません。

XMLフォーマット

Eメールによる請求書の送付については、ReadSoft Onlineは現在、以下のフォーマットによるXML入力に対応しています。

- ◆ E2B
- ◆ ESXML
- ◆ EHF
- ◆ Finvoice
- ◆ OIO
- ◆ Svefaktura
- ◆ UBL
- ◆ ZUGFeRD

Eメールへの添付は、XML請求書1通を含むXMLファイル1つに制限されています。XML請求書の検証にあたっては、検証を簡単に行えるよう、XMLから請求書画像が生成されます。

主な特徴

- ◆ **請求書のキャプチャ。**Eメール、アップロード、スキャンを含む複数の入力チャンネルを通じて柔軟に請求書をキャプチャできます。
- ◆ **検証。**データの抽出後、自動的に抽出されたデータをもとに請求書を検証できます。検証が終わった後、画像と関連データはReadSoft Onlineワークフローを利用するか、外部アプリケーションにエクスポートできます。
- ◆ **ストレージ(オプション)。**請求書および受信したオリジナルのEメール(該当する場合は)、ReadSoft Onlineストレージで検索できます。請求書には追加ドキュメントを添付できます。WordやExcelファイル等の対応ドキュメントをReadSoft Onlineストレージにアップロードすることも可能です。
- ◆ **ReadSoft Onlineワークフロー(オプション)。**請求書データに基づき、承認ワークフローが自動的に開始されます。承認ワークフローの最終ステップが終了したら、請求書および関連データをエクスポート出来ます。
- ◆ **エクスポート。**請求書画像と関連データを受信側アプリケーションにエクスポートします。ReadSoft Onlineストレージを使用する場合、情報がReadSoft Onlineに長期間保存されます。

キャプチャフィールド

ドキュメント1つにつき約10フィールドがキャプチャされます。これは発行国によって異なる場合があります。顧客ごとに設定できます。キャプチャフィールドの例として、請求書番号、請求日、合計金額、正味金額等が挙げられます。行項目(明細)レベルでは、数量、商品番号、品目、金額が一般的なフィールドとなります。

対応ブラウザ

ユーザーは、以下に挙げるウェブブラウザの最新バージョンに対応したウェブベースのアプリケーションを通じてReadSoft Onlineとやり取りします。

- ◆ Internet Explorer
- ◆ Firefox
- ◆ Google Chrome
- ◆ Edge
- ◆ Safari

注:一部のKofax ReadSoft Onlineウェブアプリケーションには、Silverlightと呼ばれるMicrosoftの技術が使用されています。これにはSilverlightウェブブラウザ用プラグインのインストールが必要となります。現在、新規オフィスクライアントはHTML5で記述されており、Silverlightに依存していません。しかし、管理コントロールセンターでは引き続きSilverlightを使用しています。管理コントロールセンターを使用する場合は、Silverlightに対応したブラウザをお使いいただかなければなりません。満足のいくユーザー体験をご提供するために、内部接続(インターナル)の場合、2 Mbit以上をおすすめします。

対応言語

ReadSoft Onlineは、以下のUI言語に対応しています。

- ◆ 英語(米国、オーストラリア、英国、アイルランド)
- ◆ 中国語(簡体字)
- ◆ フランス語
- ◆ スペイン語
- ◆ デンマーク語
- ◆ ドイツ語
- ◆ スウェーデン語
- ◆ オランダ語
- ◆ ノルウェー語
- ◆ フィンランド語
- ◆ ポルトガル語(ブラジル)

初期設定では、インターフェイス言語はウェブブラウザの言語設定によって決定されます。検証時の請求書ビューに表示される通貨および日付フォーマットも、ウェブブラウザの言語設定によって決まります。監査ログは、英語のみとなります。

請求書発行国

ReadSoft Onlineでは、各国に特有のフォーマットやフィールドを利用するため、請求書の抽出を以下の国で発行された請求書向けに最適化しています。リストに掲載されていない場合でも類似の文字セットが使用されている国については、既存のフォーマットを使用できる場合があります。

- ◆ アルゼンチン
- ◆ フィンランド
- ◆ ニュージーランド
- ◆ スイス
- ◆ オーストラリア
- ◆ フランス
- ◆ ノルウェー
- ◆ トルコ
- ◆ ベルギー
- ◆ ドイツ
- ◆ ポーランド
- ◆ 米国
- ◆ カナダ
- ◆ 英国
- ◆ ポルトガル
- ◆ アイスランド
- ◆ チリ
- ◆ イタリア
- ◆ スロバキア
- ◆ インド
- ◆ 中国
- ◆ メキシコ
- ◆ スペイン
- ◆ デンマーク
- ◆ オランダ
- ◆ スウェーデン

展開環境

ReadSoft Onlineは、Microsoft Cloudで運用され、Windows Azure Platformのクラウドコンピューティング向け機能をベースに開発されています。Windows Azure Platformを使用することにより、Microsoftデータセンターにおいて極めて効率的にアプリケーションを構築、ホスティングなどの拡張ができ、世界中のデータを安全に保存することができます。

ReadSoft Online Connect

ReadSoft Online Connectは、ローカルにインストールされるアプリケーションで、オンプレミスのターゲットアプリケーションとの統合が必要な場合にオプションとして使用されます。ReadSoft Online Connectは、請求書の自動アップロード、ReadSoft OnlineからローカルのERPシステムへのデータのダウンロードや転送、サプライヤーのマスターデータの転送等、多数のタスクに使用されます。

ReadSoft Online Connectは通常、一般的なPCまたはサーバーでバックグラウンドサービスとして実行され、暗号化されたhttpsプロトコルを使用して通信します。新リリースの提供が開始されると自動的にアップデートされ、最新の環境を利用することが出来ます。

Kofax ReadSoft Online の詳細については、kofax.jpをご覧ください。

